

**第5次裾野市総合計画
後期基本計画策定に向けたまちづくりの提案**

**令和7年3月6日
裾野市総合計画策定協議会**

提案プロジェクト一覧

大綱 1 ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち（子育て・教育・健康・文化）

- ① 子育て支援 プロジェクト
- ② 社会の形成者育成 プロジェクト

大綱 2 地域資源を活用した魅力あふれるまち（産業・観光）

- ① 特産物のブランド化 プロジェクト
- ② 法印（ハウエン）さんの道プロジェクト
- ③ まちも明るく、人も明るくプロジェクト

大綱 3 安全・安心に住み続けられるまち（環境・防災・医療・地域福祉）

- ① [🔥 防災 🔥] 生き抜くための知恵 プロジェクト
- ② [👍 つながり 👍] 地域で笑顔で暮らせる プロジェクト
- ③ [★救急★] 生きるための医療・健康プロジェクト

大綱 4 将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち（都市・交通・社会基盤）

大綱 5 時代のニーズに応えられるまち（市民自治・都市経営）

- ① 自由な足の確保 プロジェクト
- ② わくわくするまちづくり プロジェクト
- ③ まちを変える投票プロジェクト

大綱 1

ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち

〈子育て・教育・健康・文化〉

施策の柱（現行計画）

1-1 安心して子どもを産み育てられる環境づくり

1-2 次代を担う子どもの教育の推進

1-3 ライフステージに合わせた生涯学習の充実

1-4 こころとからだの健康づくりの推進

1-5 スポーツ・文化・芸術に親しむ環境づくり

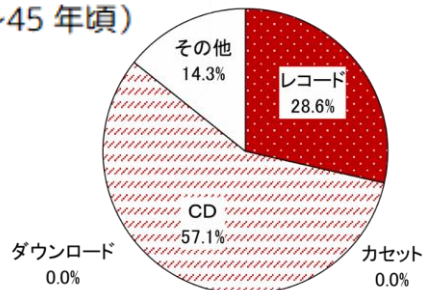
1-6 多様性を尊重した共生社会の形成

自己紹介

「はじめて買ったCDは？」

- ピンクレディ 「渚のシンドバッド」
- 中森明菜 「スローモーション」
- チャゲ&飛鳥 「YAH YAH YAH」
- 久宝留理子 「COLORS」(アルバム)
- THE BOOM 「島唄」
- 尾崎紀世彦 (昭和44～45年頃)
- 買ったことがない

その他
「エアチェック」
…放送を受信して
ラジカセなどで録音
すること

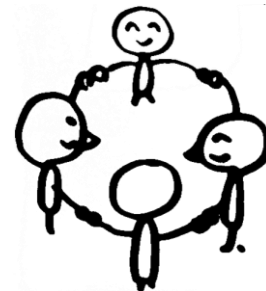


私たちが考えました！



提案プロジェクト① ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち

タイトル	子育て親育て支援 プロジェクト
背景・課題・ポイント	○身近な地域で、保護者がレスパイト（息抜き）的に子どもを預けられる場所を増やすことで、裾野の子育てをサポートする。
提 案 内 容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、組織	■子どもの育ちへの支援 ○学校近くの身近な場所に“放課後に子どもが居やすい場所”を確保する ・寺子屋のような無料の学びの場を ・親子が気軽に集まれる場所（居場所）を増やす。こどもだけでもよい。 ・子ども食堂のことを多くの市民に知ってもらい、気軽に利用できるようにする。 ■保護者（親）への支援 ・すこっぷ（子ども家庭センター）を継続することなどにより、新米ママを支援する。 ・子育て世帯が、応援を頼みやすい関係づくり。 ・様々な世代での親同士等の関係づくり ・親がどれだけ関わってよいのか相談 ■親育て ・子育てと同時に親を育てる ・子どもだけでなく親も気軽に相談できるホットライン（ホット相談） ・子育ての不安を和らげる仕組み（背中を押せる仕組み）



提案プロジェクト② ひとりひとりが役割を持ち輝けるまち

タイトル	社会の形成者育成 プロジェクト
背景・課題・ポイント	■課題1：社会の形成者を育成したい ・教育基本法第1条 教育の目的「社会の形成者の育成」 ・社会の形成者とは「主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する」者（法2条）（=将来の良き隣人） ■課題2：体験0の再生産を止めたい ・子供たちの体験格差の問題、経済的、時間的理由に加えて、保護者が体験0の家庭の子供、体験0率が50%を超える ・地域と関わることに価値を覚えていない保護者の子供は「保護者のすすめ」では地域に送り出されないという実態 ・子供の関心を入口にする必要がある
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、組織	■教育を語る場では「社会の形成者の育成」を常に真ん中に置く ・ありたい未来、将来の良き隣人を想像し、今の子供たちがそうなるための手立てを考える 例：市内5か所で開催されている「何にもしない合宿（特別な企画のない負担0のお泊り会）」が横展開しやすいように支援する 例：既に将来の入団申込書を提出する小中学生を生み出している「消防団クラブ（消防団員による多種目スポーツ教室）」がなぜ結果を出しているのかを分析する 例：地域住民同士、子供と大人が「知り合う場」として防災訓練や学校でのトークフォークダンス開催を支援する

施策の柱（現行計画）

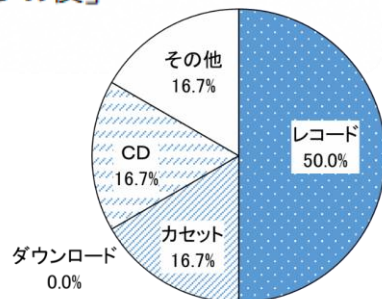
- 2-1 企業誘致・定着の推進
- 2-2 新たな価値を創出する産業基盤づくり
- 2-3 商工業の活性化の支援
- 2-4 特色を活かした農林業の振興
- 2-5 地域が潤う観光まちづくりの推進
- 2-6 富士山麓の魅力を活かしたスポーツツーリズムの推進

自己紹介

「はじめて買ったCDは？」

- 子門真人
- 長渕剛
- 山下達郎
- キャンデス・バーゲン
- 尾崎豊
- 買ったことがない

「およげ！たいやきくん」
「JAPAN」（アルバム）
「MELODIES」（アルバム）
「ソルジャー・ブルー」
「15の夜」



私たちが考えました！



タイトル	特産物のブランド化 プロジェクト
背景・課題 ・ポイント	○素晴らしい資源（魅力）があるが生かされていない ⇒シイタケ、そば、ズガニ、アユをブランド化する ⇒ブランドを活かした新しいメニュー（料理）をつくりたい
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、 組織	■ブランド化をしやすい環境づくり ・行政も規制緩和などでブランド化を推進していく ■6次産業を推進していく ・法印さんの活用 ■すそのブランドの中の特別なもの「プレミアムすそのブランド」 ストーリーで魅せる裾野の魅力 ■ブランド化した魅力をPRする 一過性で終わらない仕掛け 

タイトル	法印（ハウエン）さんの道プロジェクト
背景・課題・ポイント	○裾野市内に点在する観光資源をうまく活用してコースにする。 【新アイデア】法印（ほうえん）さんの修験者コースを歩く
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、組織	■村山の修験者の道を巡るコース ・村山浅間神社の修験者が活動していた修験道を利用して、裾野市全体の観光振興をる。 （須山浅間神社ー下和田ー今里ー金沢ー葛山の依京寺ー伊豆島田不動尊ー大畑大日堂 など） ・須山浅間神社、法印（ハウエン）と修験コースを全国、世界に紹介、アピールする。 ■自転車でルートをたどる（シェアサイクル） →須山浅間神社やヘルシーパーク裾野をスタート ■説明看板の設置 ■滝や神社を回る仕掛けづくり ■オリンピックのロードレースのコースを使い、山梨県や御殿場市を巻き込んでいく



タイトル	まちも明るく、人も明るくプロジェクト
背景・課題・ポイント	○魅力のある街（住環境）には安全が必要であることから、裾野市が夜に歩いても安全なまちであることをアピールする。
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、組織	■安全に人が集まってくることができる環境づくり ■コミュニティ力の強化 ・お互いに思いやりを持つ地域で安全なまちをつくる ■人と人との関係性が良くなり、まちも人も明るくなる ■軽水力発電 ■動く公園 ・人が集まる場所をつくる

大綱 3

安全・安心に住み続けられるまち

〈環境・防災・医療・地域福祉〉

施策の柱（現行計画）

3-1 環境に配慮した持続可能な社会の形成

3-2 災害に強くしなやかな地域社会の形成

3-3 安全な生活と交通の確保

3-4 安心して暮らせる地域医療体制の確保

3-5 地域で支え合う福祉の充実

私たちが考えました！

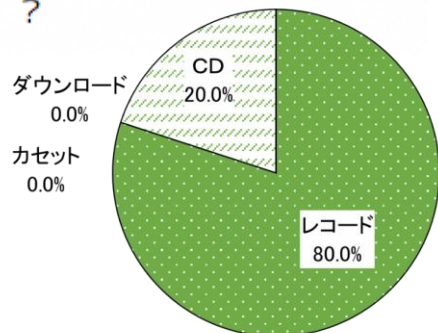


自己紹介

「はじめて買ったCDは？」

- 寺尾聡
- ツイスト
- 小坂明子
- スピッツ
- ビートルズ

「ルビーの指環」
「SOPPO」
「あなた」
「ロビンソン」
？



タイトル	【🔥 防災 🔥】 生き抜くための知恵 プロジェクト
背景・課題 ・ポイント	○新しい防災訓練により被害を減災したい！ ○みんな 強制的 やっている？！ 負担感ゼロ の防災訓練にしたい！ ○訓練内容が実際と合っているのか疑問！
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、 組織	■防災訓練の刷新 ・これまでの防災訓練（可搬ポンプ、消火器など）では、実際の震災になった時に、本当に機能するのか不安。実際の災害を想定して、各区で新しく見直していく必要がある。どんな訓練をやるのか（マニュアル化）楽しい訓練 ・防災訓練のマンネリ化。ばらつきがある地区の訓練方法を見直す。 ・避難所の役割分担を想定して、訓練内容（方法）を見直してはどうか。 →避難所運営ゲーム（HUG）、災害対応運営ゲーム（SUG）を展開することでイメージがしやすくなる！ ・実際の被災状況を画面を通して目で見ることも大事（訓練＋勉強会＋展示） ・被災を身近に感じる仕掛けづくり。子ども（中学生）主体の訓練 ・インフラが使えない状態での訓練 ■減災に向けた共助・近助の強化 ・自主防災会の活性化 ・小グループでの訓練実施

タイトル	【👍 繋がり 👍】 地域で笑顔で暮らせる プロジェクト
背景・課題 ・ポイント	○ 顔の見える繋がり でないので防災にも救急にも繋がらない。 ○各種団体がなくなる等、地域の繋がりが希薄になっている。
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、 組織	■老若男女が気軽に参加できるイベントの開催 ・同じ方法を目指している団体（子ども会、老人会、婦人会 など）との横の繋がりをつくる。 ・気軽に参加できる機会を作りたい。 ・子どもが集まれば人が集まる。子どもにも地域の活動を知らせる。 ・子どもとお年寄りの繋がりを作る。 ・主体的な場作り。無理のない繋がり場。 →昔ながらの地域行事、近隣市町も参考に。 ■焚火イベントを実施する ・地域に暮らしている人が集まって焚火を囲むイベントを開催して、笑顔で暮らせるようになるための意見を出し合う。 → 名前や顔のわかる関係性を構築 することで防災、救急に繋がる！ 繋がりを作る機会が 「安全・安心に住み続けられるまち」につながる！

タイトル	【★救急★】 生きるための医療・健康プロジェクト
背景・課題 ・ポイント	○市民の安心安全のために、地域の医療をもっと強化してほしい！ ○市内だと 医療体制が不安 な部分がある。
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、 組織	■総合病院のような機能の充実 ・訪問診療の充実 ・専門医の充実（大学病院、専門病院の誘致） ・開業医（かかりつけ医）と総合病院との連携強化 ・医者を地域（裾野市）で育てる ・2次病院（小児科、循環器、脳外科） ・検診の充実 ⇒ 命のボタン をつなげていく ■訪問診療 ・受け皿がないため充実 ■他事例を参考にした取組 ・自治医科大

大綱 4

将来を見据えた暮らしや活動を支えるまち 〈都市・交通・社会基盤〉

大綱 5

時代のニーズに応えられるまち

〈市民自治・都市経営〉

4-1 次世代型近未来都市の形成

4-2 駅周辺等の拠点づくりと多様な世代の交流の促進

4-3 良好な景観と良質な住環境の形成

4-4 誰もが移動しやすい交通環境の整備

4-5 利便性の高い道路網の整備・保全

4-6 豊かで良質な水道水の安定供給

4-7 衛生的で快適な下水道の整備・保全

5-1 市民自治によるコミュニティ活動の促進

5-2 すその魅力を高めるシティプロモーションの推進

5-3 市民サービスの向上を目指すスマート自治体の推進

5-4 公共施設等マネジメントの推進

5-5 持続可能な行財政運営の推進

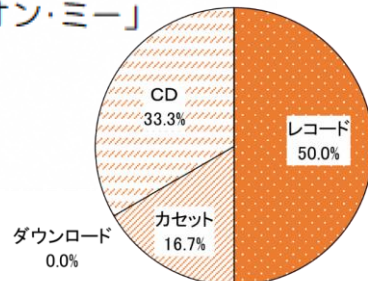
5-6 時代の変化に対応できる人材の育成と組織体制の構築

5-7 開かれた議会運営の支援

5-8 適正な監査事務の促進

- 森山良子
- a-ha
- カーペンターズ
- 伊東ゆかり
- hitomi
- ミスチル or スピッツ

「この広い野原いっぱい」
「テイク・オン・ミー」



私たちが考えました！



タイトル	自由な足の確保 プロジェクト
背景・課題・ポイント	○自由な足（移動手段）を確保する。 ⇒交通手段がなくなること全世代が心配している。（学校統合時の通学バス、免許返納時の交通手段 など） ⇒自動運転の導入について、実証実験などを通じて、多くの市民の機運を高める。
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、 組織	■移動手段を増やしていく取組み ・通学、通園、通勤バスへの乗車のシェアやそれ以外の時間に路線バスを運行するなど効率的な運行ができるようにする ・ライドシェアをいち早く取り入れるための学習会、講習会をする ・乗合のできる地域社会（コミュニティ）づくり ・深良新駅設置に向けた研究 ■自動運転への期待 ・ウーブンシティと連携して、自動運転の運行実験を誘致するなどして市民の機運を高めていく ・企業の研究と歩調を合わせることがポイント

タイトル	わくわくするまちづくり プロジェクト
背景・課題・ポイント	○裾野駅前の魅力を高めて、にぎわいをつくる。 ○歩いて楽しめるまちづくりを進める ○情報発信の工夫（子ども向けや親子の会話を促す発信）
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、 組織	■裾野駅前のにぎわいづくり ・駅前の更地を使って、イベントや祭りを開催する（例：さわやかウォーキングやインバウンド需要も意識） ・駅前にクリニックや総合病院を誘致することで、地元資本の飲食店や娯楽施設の立地につなげていく ・駅前に地元企業のPRの場をつくる ・緑化や花植えなど、市民の力を引き出すための声かけや仕組みづくり ■再開発のためのニーズ調査、地元への働きかけ ・新しい発想の複合公共施設を検討する ・ワクワクすることを公募する ■裾野駅と岩波駅の差別化 ・それぞれの個性を活かした公園やまちの機能を展開する

タイトル	まちを変える投票プロジェクト
背景・課題・ポイント	○選挙の投票率は、裾野市の将来に期待値を表しているため、投票率を高める必要がある。
提案内容 ハード： 場所、施設、機能 ソフト： サービス、担い手、組織	■投票への意識を高める ・小学校、中学校、高校で、子ども達が、投票に行くこと・立候補することをカッコイイと思うような教育をする。 ・インターネットを活用して、若い人の投票率をアップさせる。 ・事業所への投票の働きかけ ■投票しやすくする・ついでに投票できる仕掛けづくり ・親と子が一緒に投票所に行くようにするための取組み ・交通手段の少ないお年寄りが投票できるように「移動投票バス」を運行する。移動バスでは、企業とのタイアップにより買物もできるようにする。 ・期日前投票の場所を増やす ■投票への特典をつくる ・大人も子どもが楽しめるイベントを投票日と併せて開催する。（子どもへの特典を用意する） ・センキョ割（※1）を実施する。 ※1：投票後、投票済証明書や撮った写真をクーポンとして、参加店でオトクが楽しめる仕組み。